

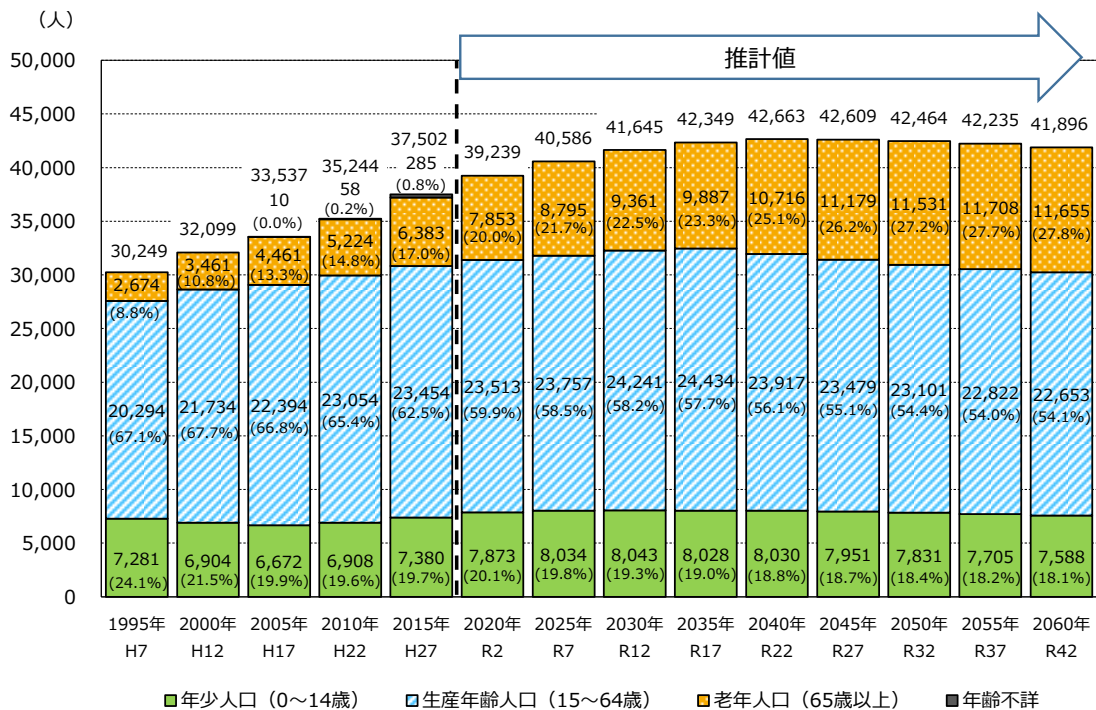
第3章 将来人口の推計

1 社人研の推計

社人研による本町の将来人口の推計は、平成27年（2015）の実績値をベースに推計されています。これによると、令和22年（2040）までは年々増加し42,663人になります。この令和22年（2040）をピークとし、それ以降は減少に転じる推計となっています。

また、人口構造は、年少人口と生産年齢人口は横ばい状態を示し、老年人口は年々増加する傾向を示しています。高齢者数（高齢化率）をみると、令和7年（2025）には8,795人（21.7%）となり、高齢化率が21%を超える超高齢社会となります。さらに、令和27年（2045）には11,179人（26.2%）となる見通しです。

■総人口及び年齢3区別の推移



- 注) 1.平成7年（1995）～平成27年（2015）は国勢調査による実績値。
2.令和2年（2020）～令和42年（2060）は社人研の推計値。

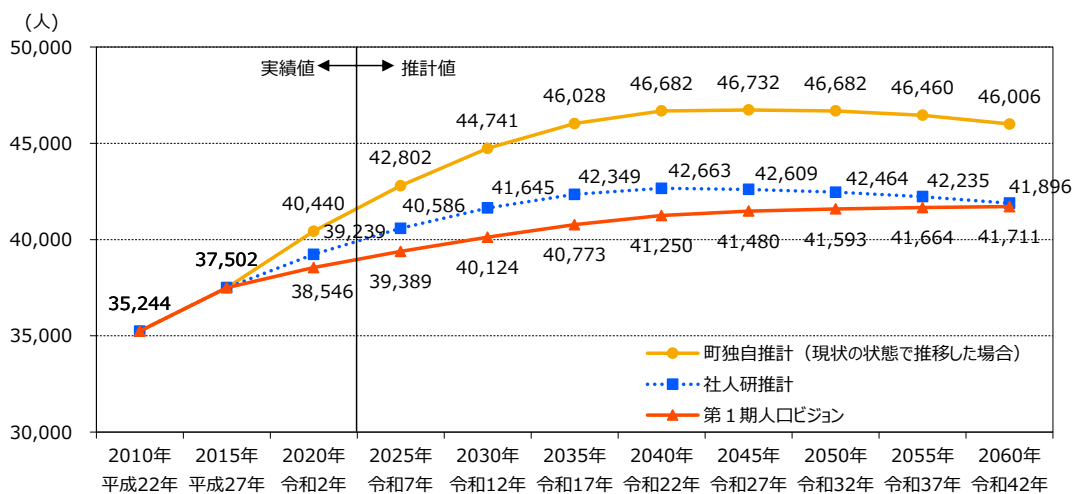
（資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30年3月推計）」）

2 町独自の推計（現状の状態推移した場合）

令和 2 年（2020）の国勢調査結果をベースに推計した本町独自の将来人口の推計結果をみると、令和 27 年（2045）まで人口が増加し 46,732 人になると推測されます。しかし、令和 27 年（2045）をピークに、それ以降は減少に転じる推計となっています。

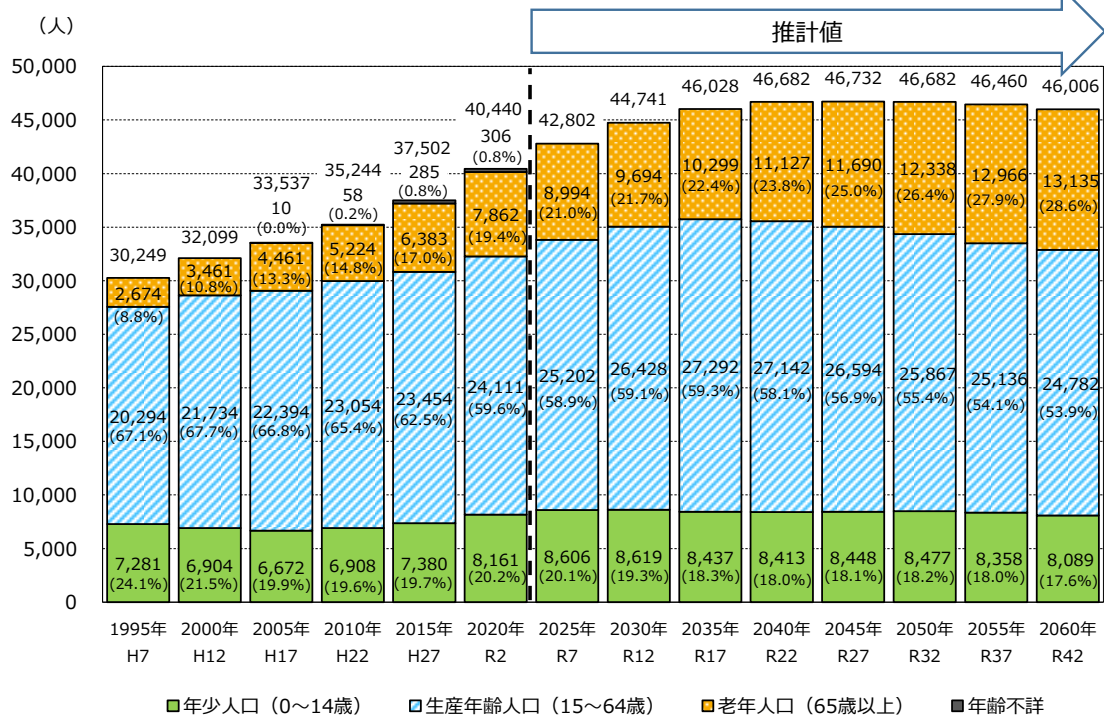
また、人口構造は、社人研の推計結果と同様に年少人口と生産年齢人口は横ばい状態を示し、老年人口は年々増加する傾向を示しています。このことを踏まえ、令和 27 年（2045）以降の人口減少と超高齢社会の到来に備えた対策が必要です。

町独自の推計結果（現状の状態推移した場合）



- 注) 1.平成22年（2010）、平成27年（2015）、令和2年（2020）は国勢調査による実績値。
 2.社人研推計は、国立社会保障・人口問題研究所が平成27年（2015）の国勢調査を基に算出した「日本の地域別将来推計人口（平成30年（2018）推計）」で示している推計結果。令和2年（2020）の値は推計当時の推計値。
 3.第1期人口ビジョンは、「南風原町人口ビジョン及び南風原町まち・ひと・しごと創生総合戦略(改訂版)」(平成30年12月改訂)の南風原町の人口推計で設定している独自推計①の値。令和2年（2020）の値は推計当時の推計値。
 4.町独自推計（現状の状態推移した場合）は、令和2年(2020)国勢調査人口を基に、合計特殊出生率、独自純移動率を勘案し算出した将来人口。

総人口及び年齢3区分別の推移



注) 1.平成7年(1995)～令和2年(2020)は国勢調査による実績値。
 2.令和7年(2025)～令和42年(2060)は本町独自推計値(現状趨勢ケース)。